

平成 30 年度「目標達成のための具体的施策」進捗状況

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性									
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(1) 情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 冊子・リーフレット・チラシの作成、配布 ごみと資源の分け方・出し方 (保存版、簡易版、4か国語版) Bunkyo ごみダイエット通信 (A4判(両面)、新聞折込版、町会向けB4判(片面)) 小学生を対象とした食品ロス削減啓発チラシ <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">リサイクル推進協力店リーフレット</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">登録店舗数</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">40 店舗</td> </tr> <tr> <td>ぶんきょう食べきり協力店リーフレット</td> <td style="text-align: right;">登録店舗数</td> <td style="text-align: right;">36 店舗</td> </tr> <tr> <td>エコ先生の特別授業リーフレット</td> <td style="text-align: right;">登録講座数</td> <td style="text-align: right;">11 講座</td> </tr> </table> ● 区報を活用した主な周知・啓発事業 3R推進月間「文京エコ・リサイクルフェア」開催、携帯電話・スマートフォンの回収(メダルプロジェクト)、水銀含有物の回収方法の変更、フードドライブ「自宅訪問受取サービス」開始 ● CATVを活用した主な周知・啓発 フードドライブ、子ども用品とりかえっこ、生ごみ減量塾、モノ・フォーラム、ぶんきょう食べきり協力店紹介・食べきり推進活動 	リサイクル推進協力店リーフレット	登録店舗数	40 店舗	ぶんきょう食べきり協力店リーフレット	登録店舗数	36 店舗	エコ先生の特別授業リーフレット	登録講座数	11 講座	<ul style="list-style-type: none"> ● 幼い頃より、リサイクルや環境問題に関心を持たせるため、小学生向けの2R記事を載せた Bunkyo ごみダイエット通信を作成し働きかけていく。また、毎年6月頃に町会向けに配布していた A4 判の配布先を区内小中学校に変更して配布する。 ● リサイクル推進協力店・ぶんきょう食べきり協力店の店舗数の拡充を図るため、文京区商店街連合会や食品衛生協会に働きかけるとともに、区内店舗への勧誘も引き続き実施する。 ● 普及啓発活動の場を広げるため、他の部署主催のイベント等と連携し、3Rや食品ロスに関する啓発資料を配布する。
リサイクル推進協力店リーフレット	登録店舗数	40 店舗										
ぶんきょう食べきり協力店リーフレット	登録店舗数	36 店舗										
エコ先生の特別授業リーフレット	登録講座数	11 講座										

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
<p>1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進</p>	<p>(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各イベント・講座等の実施状況 【文京エコ・リサイクルフェア】 10月27日(土) 教育の森公園にて実施 22団体出展 来場者 延べ5,381名 【ステージ・エコ(フリーマーケット)】 区民ひろば 5回開催(5月18日、6月30日、8月18日、12月14日、2月9日) 出店数 延べ131店 ※教育の森公園(文京・エコリサイクルフェア同時開催)は、雨天のため中止 【リサイクル推進サポータースキルアップ講座】 5月23日(水)～6月13日(水) 全4回 講師 鬼沢 良子氏(NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット) 受講者12名 【団体育成支援バス見学会】 8月22日(水) 協栄産業グループ ジャパンテック(株)宇都宮工場・えこっくる江東へ見学予定だったが、猛暑のため中止 【団体育成支援公開講座】 2月6日(水)「2R優先は安全・安心なくらしにつながっている」～海洋プラスチックごみのことも考えてみよう～ 講師 中井 八千代氏(容器包装の3Rを進める全国ネットワーク副運営委員長) 受講者39名 【モノ・フォーラム】 3月6日(水)「いのちをいただく～食べ物が無駄にならない明日を目指してできることから始めよう～」 講師 井出 留美氏(食品ロス問題専門家) 受講者170名 【集団回収実践団体バス見学会】 12月6日(木) 練馬清掃工場、リサイクル・プラザ JB 見学者30名 	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみや環境への関心が低い区民に対し、イベントなど様々な機会をとらえて、3Rや資源の分別について、啓発を図っていく。 ● 文京エコ・リサイクルフェア及びステージ・エコについて、天候に左右されることなく安定的に運営するため、屋内開催を検討する。 ● 地域で活動していただくサポーター数を増やすため、周知・啓発、養成講座の充実・改善を図る。 ● 効果的な講座を提供するため、対象者を明確にし、各種講座のテーマが重ならないよう調整を図る。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供	<p>【エコ先生の特別授業】 3回実施 受講者 延べ127名</p> <p>【ふれあい講座】 区立小学校16校、筑波大学附属小学校、都立文京盲学校で実施。 受講者 延べ1,232名 講座にて、小学生を対象とした食品ロス削減啓発チラシを配布 再掲</p> <p>【子ども用品とりかえっこ～衣類とおもちゃの無料交換会～】 6月2日(土) 参加者562家族、出品数7,081点 交換数5,242点 11月17日(土) 参加者364家族、出品数4,423点 交換数3,289点</p> <p>【リユース子ども服と陶磁器の無料頒布会】 12月21日(金) 参加者199人 出品数804点</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クールアースフェア（環境政策課主催）に出展 7月6日(金) エコ資源の回収、フードドライブ、ごみ分別クイズ ● 子育てフェスティバル（子育て支援課主催）に出展 9月2日(日) フードドライブ、子ども服無料頒布会（6月の子ども用品とりかえっこにおいて交換されなかった衣類） 	<ul style="list-style-type: none"> ● エコ先生の特別授業について、新規講座の開拓として、食品ロス関連など区民の関心が高い内容や、リサイクル推進サポーターが講師として活躍できる場となるような講座の検討を行う。 ● 普及啓発活動の場を広げるため、他の部署主催のイベント等と連携し、3Rや食品ロスに関する啓発資料を配布する。
	(3) 地域活動団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● Bunkyo ごみダイエット通信を町会へ配布 再掲 ● ステージ・エコや文京エコ・リサイクルフェアにリサイクル・環境団体が出展し協働して3Rの普及啓発を実施 ● 団体育成支援「公開講座」をリサイクル活動団体と協働で実施 再掲 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活動団体、リサイクル・環境団体と連携し、引き続き3Rの普及啓発に取り組むとともに、恒常化した活動を改善するため検討を行う。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
2 普 事 及 業 啓 者 発 を ・ 対 協 象 働 と の 推 進	(1) 情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 延べ床面積 1000 m²～3000 m²未満の事業用中規模建築物を対象とした立入検査や廃棄物管理責任者への講習会、自己のごみの種類や量の把握方法の周知、等を通じ、廃棄物の適正処理と減量に関する事業者責任の周知徹底及び指導を行った。 ・ 対象件数 337 件 再利用率計画書提出件数 308 件 事業用建築物立入検査件数 97 件 廃棄物管理責任者参加人数 44 人 	<ul style="list-style-type: none"> ● 立入検査で先進的な取り組みをしている事例を紹介したり、講習会の中で啓発用DVDを活用し、事業者の適正処理とごみ減量を促進する。
	(2) 事業者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品ロス削減に取り組む店舗を増やすため、商店街連合会、食品衛生講習会、区内大学連携担当者会議等を通して事業者に働きかけた。 ● 食品ロス削減の意識醸成のため、区内大学と連携し食品ロス削減への協力、食べきり協力店への加入を区内店舗に呼びかけた。 区内大学生の働きかけによる登録店舗数：11 店舗 ● 区内の 40 店舗に対し「リサイクル推進協力店」の登録を行った。(平成 31 年 3 月末時点) ● 「リサイクル推進協力店」の内、食品ロス削減に取り組む店舗 (15 店舗) を「ぶんきょう食べきり協力店」として独立させ、合計 36 店舗 (平成 31 年 3 月末時点) が登録に至った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品ロス削減に取り組む店舗を更に増やすため、商店街連合会、食品衛生講習会、区内大学連携担当者会議等を通して事業者に働きかけていく。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
3 家庭系の 3Rの 推進	(1) リデュース (発生抑制)の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 「フードドライブ」の実施 未利用食品を回収し、フードバンクに寄付を行うフードドライブをイベントに合わせて実施した。また、平成 30 年度よりリサイクル清掃課窓口常時回収を開始した。 イベント・窓口回収（通年） 食品回収量 約 1 t ● レジ袋削減・マイボトル持参の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品ロスの削減をテーマとする講演会等の開催やイベント時に実施するフードドライブを通して食品ロス削減の周知啓発を行い、発生抑制を推進する。 ● 平成 31 年度よりフードドライブについて、自宅訪問回収サービスを開始するなど拡充を図る。
	(2) 生ごみ減量 活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 【コンポスト化容器の斡旋】 3 基斡旋（地上型 1 基、ベランダ型 2 基） ● 【生ごみ減量講座】 春季 5 月 11 日(金)「生ごみ腐葉土の作り方」 受講者 22 名 夏季 7 月 6 日(金)「生ごみ腐葉土の使い方」 受講者 19 名 秋季 11 月 9 日(金)「生ごみで腐葉土の作り方・使い方」 受講者 26 名 ● 【生ごみ交流会】 3 月 1 日(金)「エコの花、腐葉土作って咲かせよう！」 受講者 35 名 ● 【エコ・クッキング教室】 親子対象 7 月 26 日(木) 小学 1・2 年生 受講者 11 組 7 月 27 日(金) 小学 3～6 年生 受講者 11 組 一般対象 11 月 29 日(木) 受講者 22 名 	<ul style="list-style-type: none"> ● コンポストの需要が年々減少する中、家庭用生ごみ処理機等、他の手段の導入も研究していく。 ● 生ごみ減量講座やエコ・クッキング教室で、食品ロスについても啓発を図り、生ごみの減量につなげていく。 ● 生ごみ減量講座の受講者が固定化していることから、新規受講者開拓に向け、講座内容の見直しを検討する。 ● エコ・クッキング教室の募集について、受講者アンケートより集約した意見要望により、参加費用の検討、講座内容や募集方法の見直しを図る。
	(3) モノを長く使う ライフスタイル の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● ステージ・エコ等でおもちゃの病院を開設し、故障したおもちゃ類の無料修理を実施した。 全 6 回 延べ 119 件 	<ul style="list-style-type: none"> ● おもちゃの病院のPRを強化した結果、認知度が上がり毎回盛況である。引き続き周知を図りリユースの促進を図る。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
3 家庭系の3Rの推進	(4) リユース (再使用)の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 【ステージ・エコ】フリーマーケットの開催 再掲 ● 【フードドライブ】 再掲 ● 【子ども用品とりかえっこ～衣類とおもちゃの無料交換会～】 再掲 ● 子育てフェスティバル（子育て支援課主催）にて、子ども服無料頒布会 再掲 ● 【リユース子ども服と陶磁器の無料頒布会】 再掲 ● 区内のリーマーケット・バザーの開催情報をHPに掲載 3件 ● リサイクル推進協力店の各店舗の取組み情報やPRポイント等をHPに掲載 40店舗 	<ul style="list-style-type: none"> ● 区内のフリーマーケット・バザー情報について、引き続きHPの掲載を行い、あわせてステージ・エコ実行委員への情報提供、ステージ・エコ会場にて広報誌等の掲示を行っていく。 ● リサイクル推進協力店の周知を図るため、リーフレット等をイベントで配布する。
	(5) 集団回収の 拡充	<ul style="list-style-type: none"> ● 集団回収実践団体への報奨金や作業補助用具の支給、回収実績が優良な団体に対する感謝状贈呈などを行い、集団回収のさらなる拡充と活動の支援に努めた。 ● 集団回収に関する記事を掲載した Bunkyo ごみダイエット通信（12月）を新聞折り込みにより配布し、多くの区民に周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 集団回収実践団体に対し、引き続き支援を行っていく。
	(6) 資源回収の 拡充	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源の持ち去り対策のため、清掃職員によるパトロールや警察（富坂）と連携し、取締りを行った。 ● 平成29年4月からステージ・エコイベントで小型の金属類・水銀使用計器類の回収を開始した。また、水銀使用計器類については、リサイクル清掃課窓口で通年回収を実施した。 ● メダルプロジェクトとして、携帯電話・スマートフォンの回収ボックスを地域活動センター等区内13箇所に設置し、回収を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源の持ち去り対策について、引き続きGPS端末の設置など効果的な取り組みを行っていく。 ● 小型の金属類・水銀使用計器類の回収は、現在の回収方法を継続するとともに周知活動も実施する。 ● メダルプロジェクトは、メダル作製に必要な金属量を回収できたことから、当初計画どおり、平成31年3月31日をもって終了した。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
4 事業系の3Rの推進	(1) 大規模事業所の3R推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 延べ床面積 3000 m²以上の事業用大規模建築物の所有者を対象に、1年間の実績報告となる再利用計画書の提出や事業用建築物立入検査、廃棄物管理責任者への講習会等を通じて、3Rと適正処理の推進を働きかけた。 ・ 対象件数 301件 再利用計画書提出件数 301件 事業用建築物立入検査件数 100件 廃棄物管理責任者参加人数 51人 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国的に事業系ごみの不適正処理事例が後を絶たず、23区においても一組工場への不適正搬入が頻繁にあるため、事業者責任の徹底を強化する。
	(2) 小規模事業所の3R推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Rサークルオフィス文京や印刷製本組合に対して資源の回収袋を支給し、支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後もRサークルオフィス文京や印刷製本組合に対しては、支援事業を継続する。
	(3) 区の率先した取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 庁内電子掲示板に Bunkyo ごみダイエット通信の発行について掲載し、職員全体への周知・啓発を行った。 ● 3010 運動、宴会五箇条など食品ロスの削減について庁内電子掲示板で啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙類の再使用や分別の徹底について、継続的な取り組みを行う。 ● 食べ残しなど、食品ロス削減に向けた啓発を実施していく。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
5 適正処理の推進	(1) 適正な収集体制の維持	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者等を対象とした訪問収集、防鳥ネットの貸出、動物死体の処理などの事業につき、引き続き実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業について全体的に浸透してしており、今後も効率的かつ効果的な運営に努めていく。
	(2) 区で収集しない廃棄物への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 家電リサイクル法対象機器やパソコン、事業者等が自主回収をしている品目については、事業者への引き渡しについて周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭用パソコンへの対応については、宅配便を活用した小型家電の回収を行っている事業者と連携を図っていく。
	(3) 適正排出の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 集積所利用事業者に対する有料ごみ処理券の適正貼付指導や、不適切な排出者に対するふれあい指導などを通じて、ごみ・資源が適正に排出されるよう働きかけを行った。 ふれあい指導 9,084件 	<ul style="list-style-type: none"> ● 徐々にではあるが、ふれあい指導による効果は出ている。今後も適切な指導、相談業務を行っていく。
	(4) 事業系ごみの自己処理の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 適正な収集運搬・処理処分が行われるよう、一般廃棄物処理事業者に対して、許可や更新時の指導などを行った。 ● 事業系ごみの自己処理原則の考え方を促進するため、排出事業者に対する一般廃棄物処理業者の情報提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般廃棄物処理業者の情報提供については、電話で随時対応していく。
	(5) 中間処理・最終処分	<ul style="list-style-type: none"> ● サーマルリサイクルのほか、鉄・アルミ等の資源を回収するなど、中間処理段階でのリサイクルを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間処理後、東京都が管理する最終処分場において埋立処分しているが、引き続きごみの減量等により、最終処分場の延命化に努めていく。
	(6) 災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 23区清掃リサイクル主管課長会「災害廃棄物処理対策検討会」において、災害時のし尿及び災害廃棄物に関する協力協定などの検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別区災害廃棄物の共同処理等に関する協定策定に向けた検討を行う。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
6 運営管理体制の充実	(1) 双方向の情報交換と区民参画	<ul style="list-style-type: none"> ● 【リサイクル清掃審議会】計3回開催（第6期2回、第7期1回） 文京区一般廃棄物処理基本計画の進捗状況やごみ量等を報告・審議した。 ● 【リサイクル推進サポーター連絡会】計2回開催（7月23日、3月15日） 啓発活動について意見交換を行った。 ● 【生ごみ交流会】参加者同士の情報交換・意見交換を行った。再掲 	<ul style="list-style-type: none"> ● サポーターが主体となった3R推進活動について、具体的な活動につながるよう支援を検討する。
	(2) 国等への要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 循環型社会形成を図るため、廃棄物処理施設整備計画に掲げられた目標達成に向け、所要の財政的措置を講ずることなどを、大都市清掃事業協議会を通じて国へ要望を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別区として大都市特有の問題も数多く抱えており、適切な役割分担と負担を引き続き国へ要望していく。
	(3) 行政内部での連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境政策課の区報掲載記事「文京版クールアース・デー」において、食生活とエコについて具体的な取り組みを掲載し啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各事業で関連部署との連携・協力を引き続き図っていく。
	(4) 処理費用負担の検討	<ul style="list-style-type: none"> ● 23区清掃リサイクル主管課長会「廃棄物処理手数料改定検討会」において、東京都より依頼のあった最終処分委託料改定の確認・検証を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 最終処分委託料の算定方式について、現状分析等精査検討を行う必要があり、都区間で協議を行う。
	(5) 情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみや資源量、コストに関する情報のほか、一般廃棄物処理基本計画の進捗状況についてもホームページやBunkyo ごみダイエット通信にて公開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業概要やホームページ、Bunkyo ごみダイエット通信等で、引き続き情報公開を行っていく。